

# 公園用水

## 緑・並木などの育成管理について

西 克彦議員(共産) ①野火止水暗渠部分の桜の立ち枯れの原因は。

②並木等の保全、育成には体制を含めた拡充が必要では。

③市民協働で並木保全をするための呼びかけができないか。

市長 ①原因の解明には至っていないが、専門家に意見を求め対応を検討する。

②必要に応じて専門家との意見交換を検討していく。

③市民協働での緑化推進や、緑の保全の方策について検討していく。

▲立ち枯れして伐採された桜



## 水と緑の保全と活用について

岩本博子議員(緑ネ) ①街路樹の選び方は。

②上水本町ビオトープ公園の今後の整備計画は。

③防災面から生け垣造成補助の条件緩和が必要では。

市長 ①景観の維持、木陰の提供等の役割に適する樹高等を総合的に考慮して選んでいる。

②水辺を適正に維持していくための手伝いをしたいとの申し出があるので、連携しながら親しまれる公園の維持に努めたい。

③現在、条件緩和を含め検討中である。

▲上水本町ビオトープ公園(上水本町二丁目)



# 児童女性

## 貧困母子家庭に対する支援策は

鴨打喜久男議員(政和) ①母子家庭の実態は。

②市の支援事業は。

③母子自立支援プログラム策定等事業の状況は。

市長 ①昨年度は1千百67世帯あり、このうち約55%は母親の所得が百万円以下である。

②母子自立支援員による相談や情報提供などを実施している。

③本年度の事業実施に向け職員の研修も整い、生活保護受給者等就労支援事業を母子の自立という観点から、よりきめ細かい支援内容で実施できるよう作業を進めている。

## 障がい児の発達保障対策の充実について

西 克彦議員(共産) ①保育園や幼稚園での対応は。

②都内区市での対応は。

③私立保育園等への対応の充実を努めている。

市長 ①市立保育園には言語聴覚士が巡回し、助言等を行っている。私立保育園・幼稚園は各園で発達状況に配慮した対応をしていると認識している。

②世田谷区や渋谷区、国分寺市等では公立、私立ともに臨床心理士などによる巡回相談を行っている。

③要望等があれば、私立保育園協会等と協議し検討する。

## 次世代育成支援行動計画の総括について

岩本博子議員(緑ネ) ①子育て支援施策の成果は。

②これまでの子育て支援策全体の評価、検証は。

③特定事業主として、はっぴいこだいら子育てサポートの後期計画に向けた評価、検証は。

市長 ①医療費助成、要保護児童対策地域協議会の設置、病後児保育の実施等がある。

②国が策定する計画策定指針で、統一的な評価指標等が示されるので、参考にしたい。

③研究部会を庁内に設け、評価、検証を行うとともに幅広く職員の見解を聞いていきたい。

## 保育施設(市立保育園・私立幼稚園)の耐震について

山岸真知子議員(公明) ①耐震補強が必要な市立保育園は。

②耐震改修工事の計画は。

③私立幼稚園の耐震状況を把握しているか。

市長 ①昭和56年以降に改築した大沼保育園と、平屋建ての小川西保育園を除く8園である。

②避難場所である小・中学校の耐震化を優先的に進めており、進捗状況や財政状況を考慮しながら、他の公共施設とあわせて検討していく。

③都の調査等により、把握している。

# 福祉

## 認知症の人を地域で支える施策の充実を

山岸真知子議員(公明) ①認知症サポーター養成講座をどのように広報しているか。

②学校で認知症を学ぶ場を設けては。

③若年認知症のサポートは。

市長 ①本年度から地域包括支援センターを中心に企画し、広報している。

②高齢者との交流や、高齢者疑似体験等の活動の充実を図る中で検討していきたい。

市長 ③都の若年性認知症支援部会の検討結果を踏まえ対応したい。

## 生活保護の住宅扶助費は直接給付以外の選択もできるように

常松大介議員(フオ) ①住宅扶助費の支給を受けている被保護世帯のうち、民間住宅に居住している世帯数の比率は。

②貸し主や不動産業者から市に扶助費を直接支払ってほしいなどの要望はあるか。

③中野区のように扶助費を貸し主に代理納付する制度を実施できないか。

た大沼保育園と、平屋建ての小川西保育園を除く8園である。

②避難場所である小・中学校の耐震化を優先的に進めており、進捗状況や財政状況を考慮しながら、他の公共施設とあわせて検討していく。

③都の調査等により、把握している。

市長 ①7月1日現在、781世帯で、61・6%である。

②相談はあるが、扶助費は原則として被保護世帯に支払うものと理解してもらっている。

③家賃の滞納防止の面で有効な手段だが、課題もあるので整理して検討したい。

## 住みなれた地域で高齢者が安心して暮らすために

木村まゆみ議員(共産) ①同居家族がいる場合等における生活援助の取り扱いを周知徹底すべきでは。

②第4期介護保険事業計画の主要な柱は。

③特別養護老人ホームの待機者数と認識は。また、整備計画を持つべきでは。

市長 ①周知を徹底したい。

②既存事業の充実等を中心に議論されたい。

③6月末現在41人で、依然多くの待機者がいると認識している。計画については介護保険運営協議会で検討してもらう。

## 家族を介護する男性を社会はどう応援するか

日向美砂子議員(緑ネ) ①男性が参加しやすいよう、男性向け介護教室を開催しては。

②男性が家事や介護のスキル

をつけるため、介護福祉課と青少年男女平等課が連携しては。

③市は男性職員が介護休暇をとりやすい工夫をしているか。

市長 ①家族介護教室で男性向けの教室も開催する予定である。

②今後も連携を密にし、啓発活動等を通じて積極的な参加を促したい。

③特別な仕組みを市独自に設けることは難しい。

# 道路

## 一橋学園駅南口前交差点の信号機設置など周辺の安全対策を

橋本久雄議員(緑ネ) ①この交差点に信号機を設置できない理由は。

②交差点に対する認識は。

③交差点周辺の安全対策は。

市長 ①特異な形状のため信号機による交通整理が難しい場所であると、所管している小平警察署から聞いている。

②さまざまな危険性が生じやすい場所と認識しており、信号機の設置を要望していく。

③放置自転車の撤去等、道路

▲一橋学園駅南口前交差点

環境を整備し、交通マナー啓発のキャンペーンを推進したい。

## 大型安売りセンター開店に伴う交通渋滞について

川里春治議員(政和) ①新青梅街道や東京街道の渋滞対策は。

②東京街道と新小金井街道の交差点の信号機は東京街道側の時間が短いのでは。

市長 ①東久留米市から住民説明会の中で、事業者としてできる限りの配慮をするとの回答があったと聞いている。市は事業者、都、東久留米市の対応を注視していく。

②小平警察署から、同交差点の東京街道の交通量が増加する状況になれば検討すると聞いている。

## 道路交通法改正と市内の道路状況について

滝口幸一議員(フオ) ①改正された交通ルールを周知する具体的な施策は。

②自転車に乗る人のマナーに対する認識は。

③電動車いすへの対策は。

市長 ①小・中学生、高校生に対しては交通安全教室で、その他の人には各種キャンペーン等で周知に努めている。

②改善が必要で、向上に向けた取り組みを行っている。

③快適歩道実現事業として、歩道の段差解消や勾配の改善を図り、安全性を確保している。

## 花小金井駅北交差点の歩行者安全確保対策について

常松大介議員(フオ) ①信号機が撤去され、現在設置されていないことに対する認識は。

②信号機の整備で安全性が向上すると認識しているが、再設置は難しいことから別の方策で安全性を向上させたい。



②信号機が再設置されるまで、北側一方通行出口直前部分の幅員規制や、路面に目立つ標示ができないか。

市長 ①信号機の整備で安全性が向上すると認識しているが、再設置は難しいことから別の方策で安全性を向上させたい。

②幅員の減少は難しいが、路面標示やカラー舗装等で、規制標示の明確化に努めたい。

▲花小金井駅北交差点

## 歩道や生活道路を安全、便利なものに

佐藤 充議員(共産) ①補修や改善が必要な歩道の割合は。

②幅員4メートル以下の市道の延長と安全対策は。

③車両通行の多い仲町通りなどは拡幅等が必要では。

市長 ①数字はとらえていないが幅員、段差、勾配等が解消されていない箇所が多いことは認識している。

②約51キロメートルあり、路面標示等で歩行者の安全確保と車両通行の適正化を図っている。

③当面はより危険な道路の対応に取り組みするため、狭い道路には交通安全対策を講じたい。